

プログラム

	26日 プレコンgres		27日 学術集会1日目			28日 学術集会2日目	
	第1会場 (アリーナ)	第2会場 (大会議室)	第1会場 (アリーナ)	第2会場 (大会議室)	第3会場 (視聴覚室)	第1会場 (アリーナ)	第2会場 (大会議室)
8:00			8:00 開館 8:15 開場・受付開始 8:45 開会式			8:00 開館 8:15 開場・受付開始	
9:00			9:00～9:52 一般演題① 診断・アセスメント	9:00～9:52 一般演題⑧ 予防的連携		8:45～9:37 一般演題⑦ アトピー性皮膚炎	8:45～9:24 一般演題⑮ 症例検討
10:00			9:52～10:57 一般演題② 法医学	9:52～10:31 一般演題⑨ 多機関連携 1		9:50 教育講演 日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位 ①虐待の画像診断～見分けたいものとお見るべきところ～ 超音波検査の有用性に注目しつつ 小熊栄二 (小児医療センター放射線科医) ②法医学から見た損傷所見の採取 猪口剛 (千葉大学法医学教育センター)	
11:00				10:44～11:23 一般演題⑩ 多機関連携 2			
12:00			11:30～12:30 基調講演 日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位 居る・つながっている・会える ～かかわり続けることに意味がある～ 田中康雄 (こころとそだちのクリニックむすびめ)			11:00 特別講演2 日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位 トラウマ・インフォームド・ケア ～虐待のある家庭の親子と関わる～ 白川美也子 (こころとからだ 光の花クリニック)	
		12:30 受付開始・開場	12:30 休憩	12:40 @軽体育館 亜矢子の部屋 つながる時間…ひろがる時間…	12:30 @小会議室 理事会	12:00 休憩 12:15 @軽体育館 亜矢子の部屋 つながる時間…ひろがる時間…	12:00 代議員総会
13:00	13:00～16:10 AHT 研究部 第7回シンポジウム		13:30～14:22 一般演題③ 新しい試み	13:30～14:09 一般演題⑪ 周産期 1	13:30～14:10 一般演題⑯ ポスターセッション CPT (立ち上げ)	13:30 シンポジウム かよわくて、きつとつよい ～かかわり続ける私たちの役割～	
14:00			14:22～15:01 一般演題④ 性虐待	14:09～14:48 一般演題⑫ 周産期 2	14:15～14:47 一般演題⑰ ポスターセッション CPT (報告)		
15:00		15:00 受付開始・開場	15:06～15:45 一般演題⑤ AHT1	14:53～15:32 一般演題⑬ 発見と過程		15:00 閉会式	
16:00	16:10 アリーナ完全退室	15:30～16:30 日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位 BEAMS Stage1 村田祐二	15:45～16:24 一般演題⑥ AHT2	15:32～16:37 一般演題⑭ かかわり続ける		15:30 市民公開講座 北海道子どもの虐待防止協会道南支部 共同主催 『無関心社会の罪』 ～漂流する子どもたち～ いま私たちにできること 坂本新 (人身取引被害者サポートセンター ライトハウス) 橋ジュン (bond プロジェクト)	
17:00	16:30～18:30 (16:00 受付開始) ケースレビュー委員会主催 第13回事例検討会 (クローズド)	16:30 休憩 16:45～18:15 (16:15 受付開始) 日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位 BEAMS Stage2 仙田昌義	17:00 特別講演 1 日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位 マルチリトメントによる脳への影響と回復へのアプローチ ～気づき・支え・次世代につなぐ医療者の役割～ 友田明美 (福井大学 こどものこころの発達研究センター)				
18:00			サン・リフレ発 みなとの森着 無料シャトルバス  ①18:15 ②18:40				
19:00	18:30 休憩 18:45～20:45 (18:15 受付開始) ケースレビュー委員会主催 事例検討会 (オープン)		19:00 懇親会 みなとの森				
20:00							

学術集会 第1日目 7月27日(土)

第1会場(アリーナ)

基調講演

11:30 ~ 12:30

居る・つながっている・会える～かかわり続けることに意味がある～

【日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位】

田中 康雄(こころとそだちのクリニックむすびめ)

特別講演①

17:00 ~ 18:00

マルチトリートメントによる脳への影響と回復へのアプローチ

～気づき・支え・次世代につなぐ医療者の役割～

【日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位】

友田 明美(福井大学 こどものこころの発達研究センター)

一般演題① 診断・アセスメント

9:00 ~ 9:52

座長: 安 炳文(京都第一赤十字病院 医師) 笹岡 悠太(市立函館病院 医師)

1-1. 身体的虐待により大腿骨骨折をきたした1ヶ月女児の1例

1-2. こども家庭センターへの通告に時間を要した乳幼児急性硬膜下血腫の一例

1-3. 病歴や家族背景から虐待が強く疑われたが、最終的に家族再統合となった一乳児例

1-4. 当院における全身骨 X 線撮影の状況と問題点

一般演題② 法医学

9:52 ~ 10:57

座長: 岩原 香織(日本歯科大学 准教授) 小谷 泰一(京都大学大学院 医学研究科法医学講座 准教授)

2-1. 虐待による頭部外傷のため後遺障害を負った児が約1年半後に死亡し剖検に至った一例

2-2. 顔面熱傷の一例

2-3. 「5本以上むし歯があれば虐待」説を検証する

2-4. 子ども虐待死法医解剖例の年齢層別死因 ～当施設における後方視的検討～

2-5. 千葉大学における小児科と法医学の連携について—臨床法医外来開設を通じて—

一般演題③ 新しい試み**13:30 ~ 14:22**

座長：星野 崇啓（さいたま子どものこころクリニック 医師） 齋藤 文（函館中央病院 看護師）

- 3-1. 療育負担軽減においてリハビリテーションがなせる役割
- 3-2. 子育て世代に伝えたい CARE(Child・Adult・Relationship・Enhancement) プログラム
- 3-3. 親子との関わり～リハビリテーションでも出来ること～
- 3-4. 「気になる」をつなげる

一般演題④ 性虐待**14:22 ~ 15:01**

座長：毎原 敏郎（兵庫県立尼崎総合医療センター 医師） 田沼 史恵（函館中央病院 医師）

- 4-1. 幼児膣内異物の超音波所見
- 4-2. 当院の小児性感染症診療実態 - 性的虐待の観点から -
- 4-3. 救急外来における性虐待疑い症例 ～性虐待疑い診療フローの整備

一般演題⑤ AHT1**15:06 ~ 15:45**

座長：山中 巧（京都府立医科大学脳神経外科 医師） 田村 卓也（手稲溪仁会病院 医師）

- 5-1. 小児急性硬膜下血腫に対する開頭手術所見の検討－中村 I 型とは何か－
- 5-2. 想定しなかった脳の再腫脹を認め緊急減圧術を行った 4 ヶ月女児の Abusive Head Trauma
- 5-3. 3D-CT 画像で縫合線離開が観察された 2 歳未満の頭部外傷症例の検討

一般演題⑥ AHT2**15:45 ~ 16:24**

座長：美作 宗太郎（秋田大学 法医学講座 教授） 丸山 朋子（大阪急性期・総合医療センター 医師）

- 6-1. 入院経過中に眼底出血が増悪した Abusive Head Trauma の一例
- 6-2. 京都府内の救急告示病院における Abusive Head Trauma 対応可否調査
- 6-3. 本邦の原著医学論文・行政事故報告を対象とした、2 歳未満の硬膜下血腫事例の分析～現時点で第三者目撃のある重篤後遺障害 / 死亡事例は皆無である～

学術集会 第1日目 7月27日(土)

第2会場(大会議室)

一般演題⑧ 予防的連携

9:00 ~ 9:52

座長：池宮 美佐子(大阪市保健所 医師) 杉田 まゆみ(釧路赤十字病院 看護師)

8-1. GCUに入院し、頭蓋骨陥没骨折で救急受診した児

8-2. 周産期チームと児童相談所との連携を行う虐待対策チームの役割

8-3. 要支援妊婦の速やかな抽出と多機関連携にむけて ~マタニティサポートシート導入後の効果~

8-4. 妊娠期からの切れ目ない支援の多職種連携母子保健システムの効果検証：須坂トライアル

一般演題⑨ 多機関連携 1

9:52 ~ 10:31

座長：古田 洋子(埼玉県中央児童相談所 医師) 木脇 和利(総合病院国保旭中央病院 MSW)

9-1. 通告後こども家庭センターと連携し入院・一時保護・警察通告までスムーズに流れた一例

9-2. 養育不全の事例、一時保護か？在宅か？～気付いてつながっていても難しい～

9-3. 育児負担軽減のため転入した世帯へ支援を開始できず AHT(Abusive Head Trauma)により一時保護となった一例

一般演題⑩ 多機関連携 2

10:44 ~ 11:23

座長：勝連 啓介(医療法人へいあん 平安(ひらやす)病院 医師) 浅井 鈴子(兵庫県立尼崎総合医療センター MSW)

10-1. Child non-Death Review (CnDR) の勧め

10-2. 医療機関を加えた『四者協同面接』の実現へ ~沖縄県の取り組み~

10-3. 「秋田県子ども虐待防止連絡会議」の設置と今後の課題

一般演題⑪ 周産期 1

13:30 ~ 14:09

座長：古瀬 優太（北海道大学周産母子センター 医師） 藤井 真紀（函館中央病院 看護師）

11-1. A 病院産後健診における EPDS と担当助産師の関わりの検討

11-2. 早産児の母親の児が入院中と退院後 1 週間の EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票の変化

11-3. 精神疾患を有する妊婦に対する支援の実態

一般演題⑫ 周産期 2

14:09 ~ 14:48

座長：米山 法子（市立秋田総合病院 医師） 福田 育美（四国こどもとおとなの医療センター MSW）

12-1. 当院で経験した施設外分娩の特徴

12-2. 胎児虐待の現状と展望

12-3. 飛び込み分娩で児の養育を希望するケース

一般演題⑬ 発見と過程

14:53 ~ 15:32

座長：若本 彩子（手稲溪仁会病院 看護師） 鈴木 雅子（埼玉医科大学病院 救急センター 看護師）

13-1. 救急外来での虐待リスクアセスメントシートの活用

13-2. 子どもを虐待している可能性のある成人を救急外来で検出するために有効な方法

13-3. 新生児の一時保護における医療ソーシャルワーカーの判断プロセス

一般演題⑭ かかわり続ける

15:32 ~ 16:37

座長：中村 富美江（東京臨海病院 看護師） 藤井 三四郎（函館中央病院 MSW）

14-1. 育児不安の強い母親に対する関わりについて 1 症例の育児支援介入を振り返る

14-2. 家族の養育能力の低さ、児の偏食の為に極度の低栄養状態に陥ったネグレクトの一例

14-3. NICU・GCU における育児困難が予想される家庭への支援介入と今後の課題

14-4. 当センターの妊娠期からの虐待防止活動報告

14-5. 妊娠を機に生活改善を自ら考えた中学生の事例

学術集会 第1日目 7月27日(土)

第3会場(視聴覚室)

ポスター発表

一般演題⑯ CPT(立ち上げ)

13:30～14:10

座長: 本山 景一(茨城県立こども病院 医師)

16-1. 院内における子育て支援委員会へのソーシャルワーク視点導入の有効性について

16-2. A病院のファミリーサポートチーム活動の報告～第1報チームの活動紹介～

16-3. A病院のファミリーサポートチーム活動の報告～第2報介入ケースの現状と課題～

16-4. 三島二次医療圏での初期救急診療(休日夜間診療所)における虐待の取り組みについて

16-5. 「地域へつなぐ」を意識した家族支援チーム(FAST)の活動

一般演題⑰ CPT(報告)

14:15～14:47

座長: 小西 央朗(中国労災病院 医師)

17-1. 当院子ども虐待防止委員会において、過去5年間に初期対応を行なった37症例のまとめ

17-2. 当院における「家族と子ども支援委員会」対応事案検証会の課題と展望

17-3. 大規模病院における虐待委員会の看護師の役割と課題

17-4. Child Protection Team(CPT)活動に関する院内医師の意識調査

学術集会 第2日目 7月28日(日)

第1会場(アリーナ)

教育講演

9:50 ~ 10:50

【日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位】

①虐待の画像診断～見分けたいものとするべきところ～超音波検査の有用性に注目しつつ

小熊 栄二 (埼玉県立小児医療センター放射線科)

②法医学から見た損傷所見の採取

猪口 剛 (千葉大学法医学教育センター)

特別講演②

11:00 ~ 12:00

トラウマインフォームド・ケア ～虐待のある家庭の親子と関わる～

【日本小児科学会 新専門医制度 iii小児科領域講習 1単位】

白川 (西) 美也子 (こころとからだ・光の花クリニック)

シンポジウム

13:30 ~ 15:00

かよわくて、きつとつよい ～かかわり続ける私たちの役割～

座長：星野 崇啓 (さいたまこどものこころクリニック) 木田 毅 (函館中央病院 小児科)

模擬事例紹介：石倉 亜矢子 (函館中央病院 小児科)

シンポジスト：坂上 ゆかり (函館市子ども未来部次世代育成課) 加藤 貴子 (函館市子ども未来部母子保健課)
城米 大輔 (函館児童相談所) 齊藤 文 (函館中央病院 小児病棟)

一般演題⑦ アトピー性皮膚炎

8:45 ~ 9:37

座長：木下 あゆみ (四国こどもとおとなの医療センター 医師) 臼田 美奈子 (川崎市立川崎病院 看護師)

7-1. 医療ネグレクトが疑われた親子への育児支援

7-2. アトピー性皮膚炎の増悪を繰り返したネグレクトの1事例～社会的入院の課題と支援～

7-3. 重症アトピー性皮膚炎児に親権停止を考慮した一例

7-4. 医療機関、学校、市役所、児童相談所が連携して介入できた医療ネグレクトの中学生事例

第2会場(大会議室)

一般演題⑮ 症例検討

8:45 ~ 9:24

座長：小橋 孝介 (松戸市立総合医療センター 医師) 兼次 洋介 (釧路赤十字病院 医師)

15-1. 全身麻酔下での歯科治療を要する多数齲蝕患児の生活背景・養育状況についての実態調査

15-2. 当院における2年間の小児熱傷136例の検討

15-3. ネグレクトによる家庭内での熱中症の経験